



TITLE:

「言語グリッド」で国際協力！

AUTHOR(S):

大谷, 雅之

CITATION:

大谷, 雅之. 「言語グリッド」で国際協力！. 京都大学アカデミックデイ
2015: ポスター/展示 2015

ISSUE DATE:

2015-10-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/201336>

RIGHT:

「言語グリッド」で国際活動支援！

京都大学大学院情報学研究科 石田松原研究室 言語グリッドプロジェクトチーム (<http://langrid.org/>)

インターネットの言語サービスを集めて組み合わせる「言語グリッド」

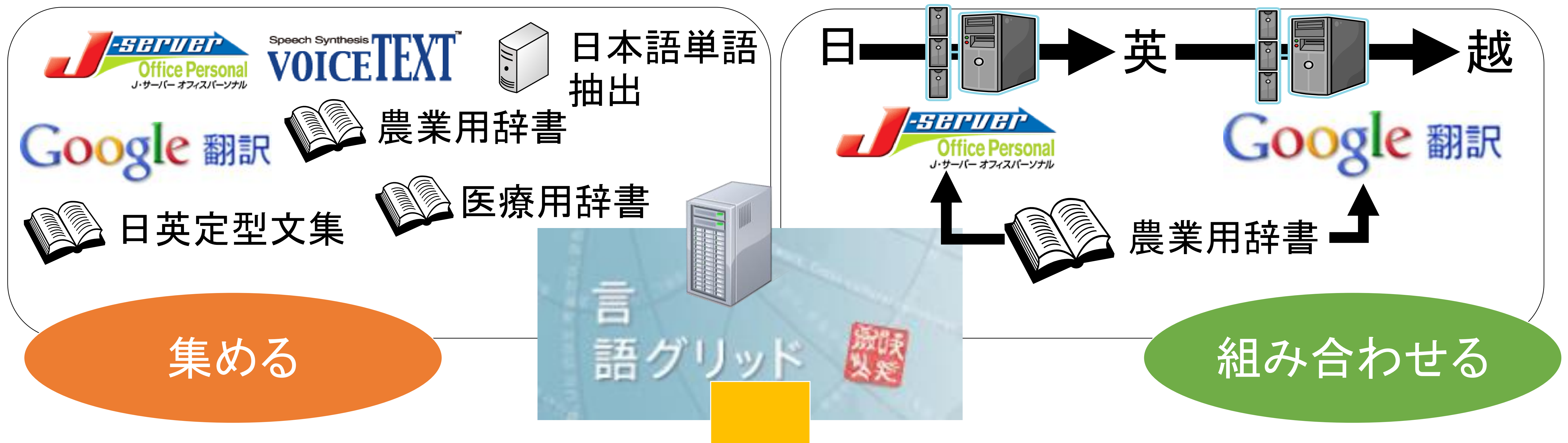
自動翻訳はまだ
実用に堪えない



事なきを得る

I get Kotonaki

言語グリッド: 集めた言語サービスを組み合わせる品質を上げる



言語グリッドを使って実際の国際活動の現場を支援！

インターネットを介した農業支援 (2011-2014)

日本人稲作専門家がベトナム人農家に子供を介して
農業知識を送る。ベトナム南部ヴィンロン省で実施。



実際に現地に行って活動



実証実験のため15組
のノートPC, 携帯電話,
その他機材を配布



事後インタビューで、15家
族の調査に400枚(A4)もの
インタビューシートを要した

世界の子どものワークショップ (2014~)

日本・韓国・アメリカ・カンボジア・ケニアの子ども達が
約一週間もの共同生活を行い、共同で作品製作



国際会議の講演をリアルタイム翻訳 (2015)

ワイズメンズクラブ国際協会 第26回アジア大会
900人(外国人200人以上)という大規模な会議



連絡先: 情報学研究科 特定研究員 大谷雅之 (m-otani@i.kyoto-u.ac.jp)

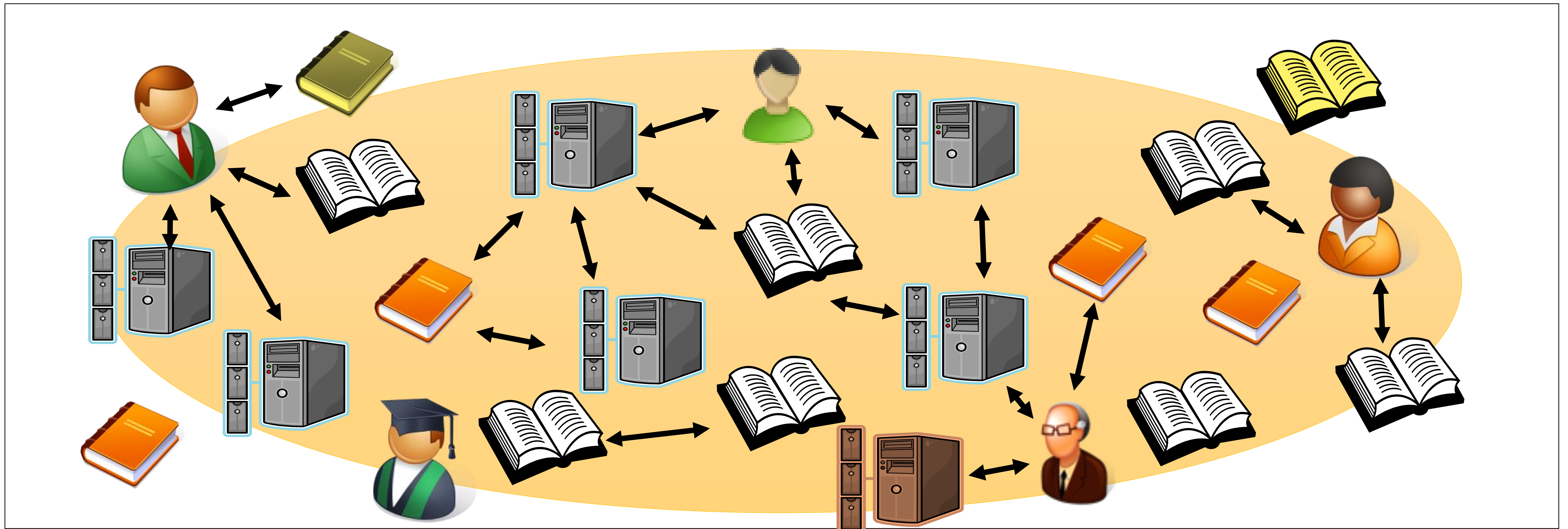
研究室のテーマ: **集合知**という考え方を使って社会の問題を解決する！

翻訳ソフトの研究ですか？

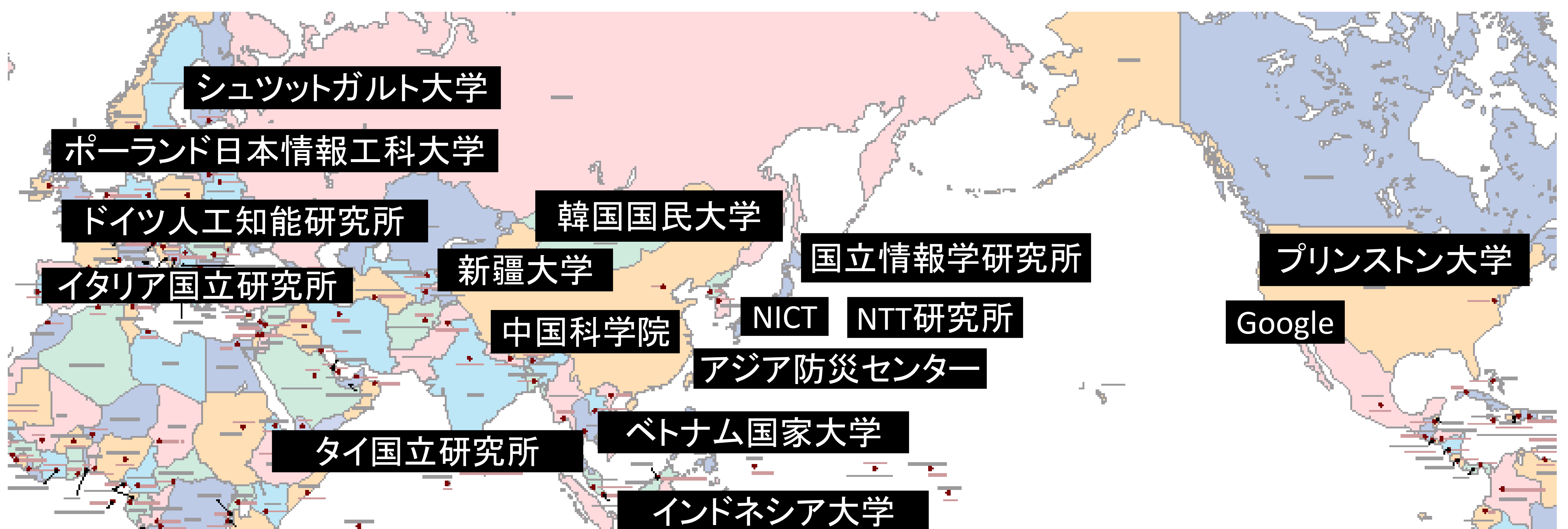
違います！「集合知」の研究です

集合知：多人数の参加＋知恵の蓄積⇒更なる知恵

インターネットの利用者は30億人を超えており、日々様々な知恵が生まれている

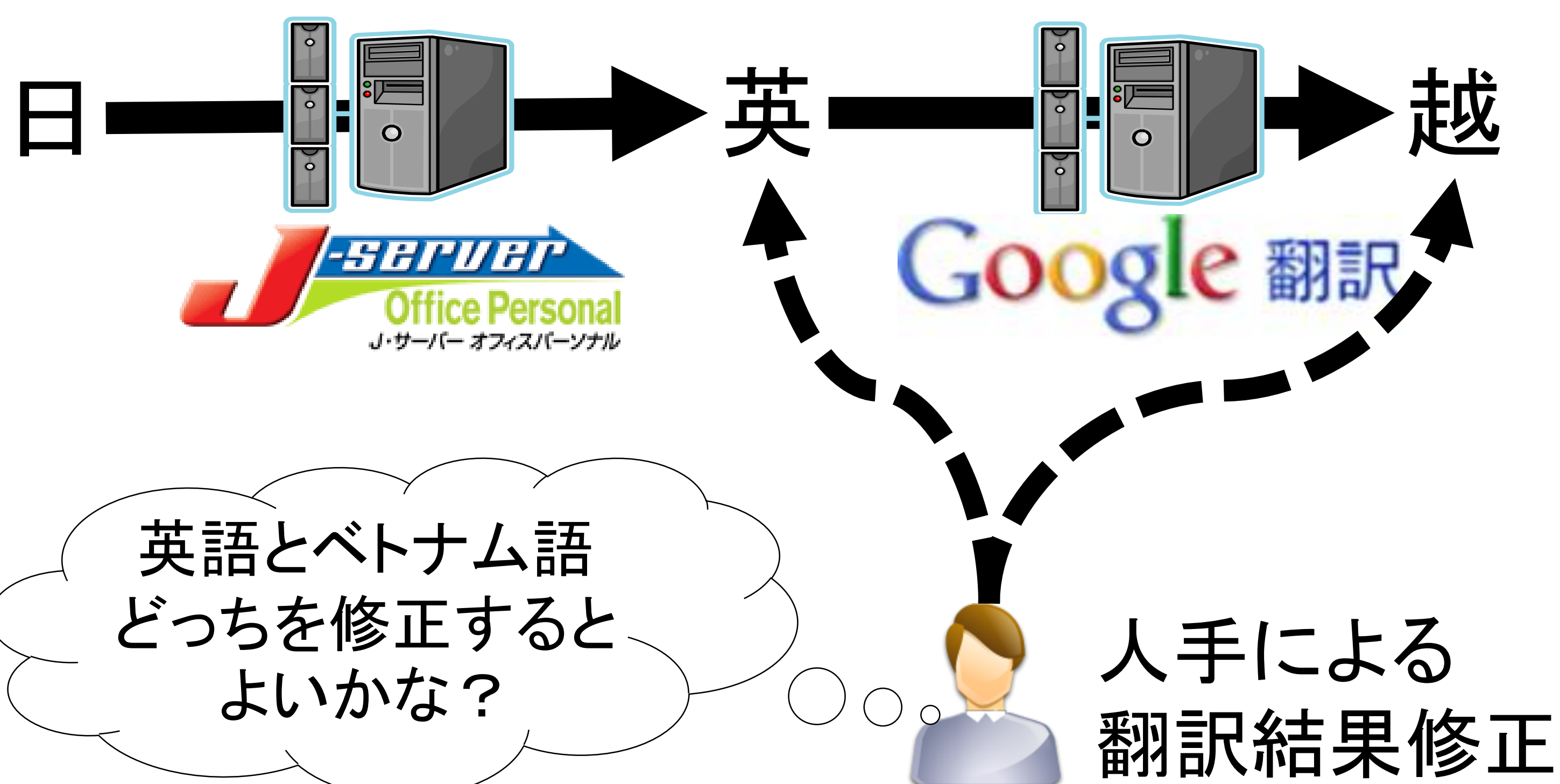


言語グリッドでは世界各地の大学・研究機関・企業(22カ国171組織)が言語サービス(228サービス)を共有し、世界規模で集合知を構築！



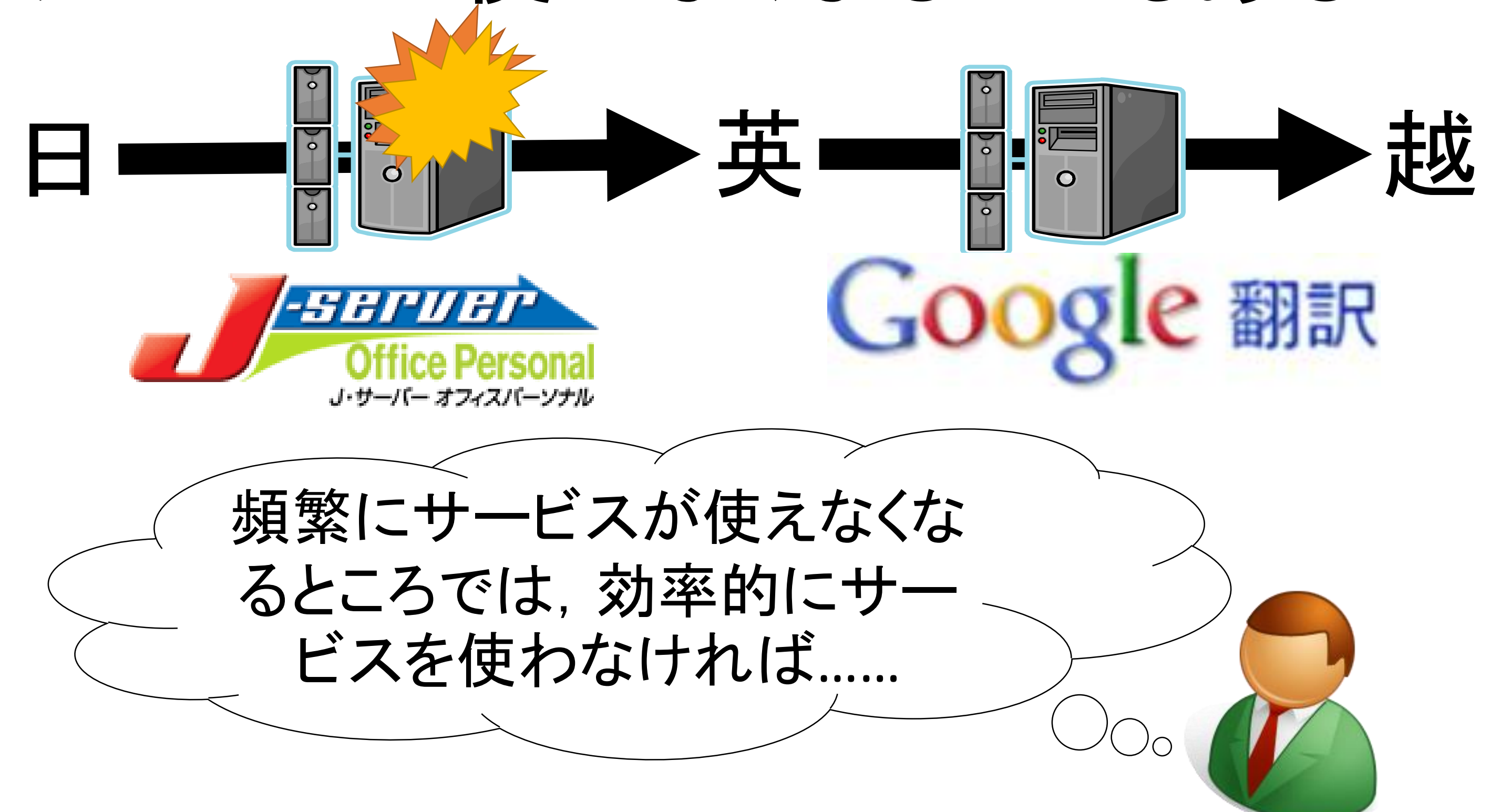
言語グリッドの現場応用における研究課題の例

適したサービスの組み合わせは？



サービスの品質を最大化する
組み合わせを発見する方法を模索

サービスが使えなくなることもある



サービスが使えなくなっても品質を
維持したまま切り替える方法を模索